

地域健康生活論

ナンバリング:N1-S1-D01

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	1	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

地域に住む人々のライフサイクルや生活習慣等によって生じる健康問題(ニーズ)を、その地域の特徴や生活及び社会背景と関連させて捉える。また、多様な場で生活する、様々な健康レベルにある人々に対し、生活の質の向上とそれを支える健康で安全な地域社会の構築を目指し、個人・家族・集団・組織・地域へ働きかけ支援する地域看護の概念を学修する。その中で、健康及びプライマリ・ヘルスケアやヘルスプロモーションなどの考え方や、多職種・多機関・住民と共に多様なニーズに対応し様々な場で活動する看護職の役割や地域づくりについて学ぶ。

・教育成果(アウトカム)

今の社会に地域看護学の視点が求められている背景を捉えた上で、地域看護の基本的な概念を学び、地域の人々の健康課題・ニーズの多様性を生活背景と関連させて捉え、その解決のために、多様な場で生活する、様々な健康レベルにある人々に対し、地域の様々な場において個人・家族・集団・組織・地域に働きかけ活動する看護職の機能・役割、多職種・多機関・住民と協働して支援する必要性を理解できる。また、住民がより健康的な生活を送れるための地域づくりについて考えることができる。	
【学位授与方針と当該授業科目との関連】 本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。	
1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8	コミュニティーにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

・到達目標(SBO)

1. 地域・コミュニティの概念と地域の特徴を捉える必要性を説明できる。
2. 地域の特性や社会資源、健康指標に関する情報を収集できる。
3. 個人に与える家族・集団・地域・社会(文化や政治など)の環境要因について概説できる。
4. 健康の概念・地域看護の概念と地域看護活動に必要な理論について説明できる。
5. ライフサイクルや健康レベルに応じ、地域で健康を支える多職種・多機関・住民と協働した活動の必要性を説明できる。
6. 地域看護において看護職が活躍する場の多様性を理解し、地域包括ケアの中の看護職の役割を列挙できる。
7. 地域の健康課題とそれを支援するための取り組み事例から地域づくりについて考察できる。

・授業日程

【講義】

会場：西1-A講義室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/15 火 2限	【授業内容】地域と生活 ・地域・コミュニティの概念および地域を理解する必要性を説明できる ・自分の居住地を事例に、地域を見る視点を列挙できる 【関連するSBO】1 【事後学修:210分】自分が暮らす地域の社会資源マップを作成する	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授
4/22 火 2限	【授業内容】地域で暮らす人々の生活と健康を守るー地域の認知症支援ー(ゲストスピーカー) ・認知症サポーターの役割を説明できる ・認知症になっても安心して暮らせるまちについて考察できる ・多職種・多機関・住民と協働して支援する必要性が理解できる 【関連するSBO】4、6、7 【事前学修:30分】教科書p.113、p.200-202を読み、認知症支援について考える 【事後学修:60分】地域包括ケアにおける個人・集団・組織との連携について理解を深める	地域包括ケア講座 五日市 瑠美子 助教

4/28 月 3限	【授業内容】健康と地域看護 ・健康とは何かを解釈できる ・プライマリ・ヘルスケアやヘルスプロモーション、ソーシャルキャピタル・予防の概念が理解できる ・地域別のデータや家庭・仕事などの社会環境の状況を説明できる ・データを見て健康との関連を意見交換できる 【関連するSBO】2 【事前学修：90分】教科書p.50-58を読み、地域・在宅看護が推進されている社会的背景を捉え、身近なヘルスプロモーション活動を考える 【事後学修：210分】社会的背景に関する課題を行う	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授
5/2 金 2限	【授業内容】地域における看護の実際（ゲストスピーカー） ・生活の場での看護の意義と視点を説明できる 【関連するSBO】4 【事前学修：90分】今までに出会った病院以外の看護師の活動の場と役割をまとめる 【事後学修：120分】地域で働く看護師の活動の場と役割について要点をまとめる	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授
5/13 火 2限	【授業内容】人々の生活と地域特性（グループワークと発表） ・地域の特性や社会資源、健康に関する情報を収集できる ・地域の暮らしを意識し、自分の居住地の地域資源（日常生活を送るために必要な資源、暮らしの中の公的サービス）を説明できる ・地域資源の多様性、生活の多様性を考察できる 【関連するSBO】1、2 【事前学修：120分】社会資源マップの発表・提出ができるよう準備を行う	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授 五日市 瑠美子 助教
5/20 火 2限	【授業内容】地域看護における看護職の活動の場と役割 ・地域看護活動において、保健師、助産師、看護師の活動の場と役割を説明できる ・地域で活動する看護職について感じたこと意見交換できる 【関連するSBO】4 【事後学修：210分】地域で働く看護職の活動の場と役割に要点をまとめる	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授
5/27 火 2限	【授業内容】地域看護活動の対象と方法 ・地域看護とは何かを説明できる ・対象者（ライフサイクル、健康状態、個人・家族・集団・組織・地域）の多様性を説明できる ・様々な対象に応じた健康を支える場の特性を把握できる ・ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチについて説明できる 【関連するSBO】3、4、5、6 【事前学修：60分】地域にどのような人が暮らしているか考える 【事後学修：120分】健康の概念・地域看護の概念の要点をまとめる	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授
6/5 木 4限	【授業内容】地域で暮らす人々の生活と健康を守る一沢内村の地域包括ケア ・地域包括ケアシステムの目的を理解し、構成されている分野を列举できる ・沢内村の実践から命を守るための行政の役割を考察できる 【関連するSBO】7 【事前学修：90分】西和賀町のホームページから、印象に残った内容をまとめる 【事後学修：330分】地域の人々と連携し、地域全体で支えあうまちづくりについて考えたことをまとめ、提出する	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシンググラフィカ 地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア 第8版	臺有桂	メディカ出版	2025
参	家族看護を基盤とした地域・在宅看護論 第6版	渡辺裕子	日本看護協会出版会	2022
参	在宅現場の地域包括ケア	秋山正子	医学書院	2016
推	健康格差社会への処方箋	近藤克則	医学書院	2017
推	無名の語り	宮本ふみ	医学書院	2006
推	大槌町 保健師による全戸家庭訪問と被災地復興	村嶋幸代 他	明石書店	2012
推	村長ありき 一沢内村 深沢晟雄の生涯	及川和男	れんが書房新社	2008
推	沢内村奮戦記 一住民の生命を守る村	太田祖電 他	あけび書房	1983
推	吾が住み処 ここより外になし ー田野畑村元開拓保健婦の歩み	岩見ヒサ	萌文社	2010

・成績評価方法

【総括的評価】定期試験70％、指定した提出課題30％により評価する。
【形成的評価】各回の講義において、振り返りシート提出を求め、学修の成果を確認する。
適宜、講義時に小テストを実施し、学修状況ならびに理解度を確認する。なお、小テストの点数は成績には反映しない。

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】
・レスポンスカード・課題レポートは、適時コメントを伝えるなど、学生にフィードバックする。
・適宜、WebClassに授業中に解説した資料等を掲載するので確認すること。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】
保健師(別表1):公衆衛生看護学 公衆衛生看護学概論
看護師(別表3):専門分野 地域・在宅看護論

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】
当該科目に関連する実務経験の有無 有
地域における看護職の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影
講義	DVD(ブルーレイおよび一般DVD)再生機器	1	講義時使用
講義	デスクトップパソコン(HP ProDesk 400 G7 SFF)	1	講義資料の作成等